

Canon

RF

5.2mm F2.8 L DUAL FISHEYE

使用説明書

JPN

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノン RF5.2mm F2.8 L DUAL FISHEYE は、EOS Rシリーズカメラ用の180° VR映像制作用レンズです。

- レンズの性能を最大限に活用していただくため、次の条件での撮影をおすすめします。
 - ・ ライブビューの使用
 - ・ 三脚の使用
- 左右2つのレンズからの画像を取得できます。取得画像は対応したカメラアプリケーションで180° VR映像に変換することができます。

本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる可能性のある注意事項などが書いてあります。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

カメラのファームウェアと カメラアプリケーションについて

お使いのカメラのファームウェアと、対応したカメラアプリケーションは最新のバージョンにしてください。それらの最新バージョンの有無やアップデート方法については、キヤノンのホームページで確認してください。




このレンズは一部のEOS Rシリーズカメラ*に対応しています。カメラが対応していない場合、またはカメラのファームウェアが対応したバージョンでない場合、カメラの動作に不具合が生じることがあります。

* 対応カメラについては、キヤノンのホームページで確認してください。

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方と他の人々への危害や障害の発生を防ぐためにお守りください。

レンズを使用する際にお守りください。

 **警告** 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- レンズを通して、太陽や強い光源を直接見ないでください。失明の原因となります。
- レンズキャップを取り付けていないレンズを、日光下に放置しないでください。レンズに入った太陽光が集まり、故障や火災の原因となります。



注意

傷害や、製品以外の物的損害を負う可能性がある内容です。

- 製品を高温や低温となる場所に放置しないでください。製品に触れるとやけどやけがの原因となります。
- 動きの激しい映像を撮影しないでください。視聴時に乗り物酔いのような症状が出る場合があります。
- 撮影時の揺れに注意してください。乗車中や歩行中などに撮影したVR映像は、疲労感、不快感の原因になる場合があります。そのため、三脚の使用をおすすめします。三脚で画面の水平出しを行ってから撮影してください。

VR映像を視聴する際にお守りください。

 **警告** 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- 目や心臓に疾患のある方、血圧の高い方、妊娠中の方、脊椎障害歴のある方は、映像を視聴する前に医師に相談してください。症状悪化の原因となります。
- 強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す映像などを見ている際に、筋肉のけいれんや意識の喪失、発作などの症状を経験された方は、視聴する前に医師に相談してください。症状悪化の原因となります。
- 成長過程の方が映像を見続けると、健康に影響を与える恐れがあります。15歳以下の方に視聴させる場合は、使用者の様子を注意深く観察してください。異常が見受けられた場合はすぐに使用を中止させ、医師に相談してください。また連続視聴時間は3分以内にしてください。



注意

傷害や、製品以外の物的損害を負う可能性がある内容です。

- 映像が明瞭に見えない方は視聴を控えてください。健康に影響を与える恐れがあります。
- 体調がすぐれないときは視聴を控えてください。気分が悪くなる恐れがあります。
- 乗り物酔いを起こしやすい方は、視聴の前に医師に相談してください。同様の症状を起こす恐れがあります。
- 連続視聴時間は30分を限度とし、適度に目と体を休めてください。長時間連続で視聴すると目や体に悪い影響を与える恐れがあります。
- 視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止してください。そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
- 左右いずれかのディスプレイをふさぐなどして、左右で大きく差のある映像を視聴しないでください。目や体に悪い影響を与える恐れがあります。

一般的なご注意

取り扱い上のご注意

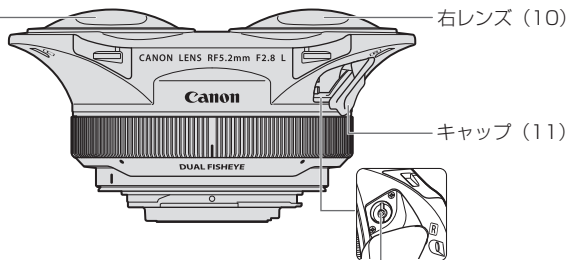
- 日光下の車の中など、高温となる場所に製品を放置しないでください。故障の原因となります。
- レンズを寒い場所から暖かい場所に移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かい場所から寒い場所に移すときも、同様にしてください。
- カメラの使用説明書の取り扱いに関する記載もご覧ください。

撮影時のご注意

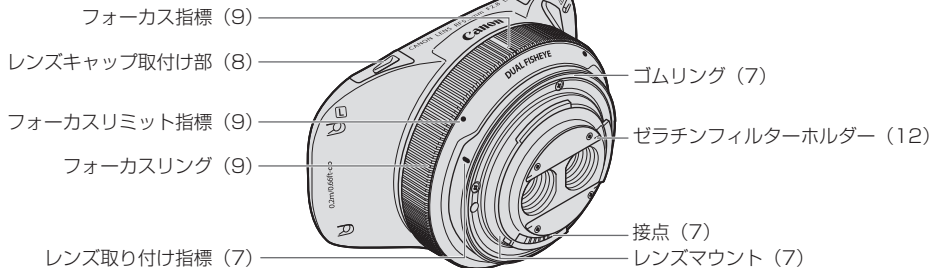
- このレンズは焦点距離が短く、レンズ表面のゴミやほこりが写り込みやすいため注意が必要です。レンズ表面やマウント側の開口部に付いたゴミやほこりは、市販のプロアーで吹き飛ばしてください。
- このレンズは画角が広く、レンズの先端が前に突き出ているため、隣のレンズが写り込みます。
- 手持ち撮影時は自分の身体が、三脚使用時は三脚の脚部が写り込みやすいため、注意が必要です。
- このレンズは左右2つのレンズを1つのセンサーで読み込む構成です。カメラによっては、左レンズの映像はモニターの右側、右レンズの映像はモニターの左側に表示される仕様になります。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

各部の名称

左レンズ (10) ————— 右レンズ (10)



————— ピント左右差調整ダイヤル (11)



● (**) の**部は参照ページを示しています。

1. レンズの取り付け／取り外し

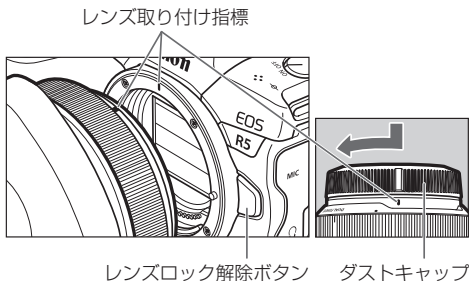
レンズ取り付け時のご注意

対応するカメラによっては、このレンズを取り付けたときに下記の機能が制限され、設定が自動的に変更されます。レンズを取り外した後も、そのままでは設定が元に戻りません。

- 静止画クロップ／アスペクト変更
- DPRAW
- 手ブレ補正（IS機能）設定：動画電子IS
- マルチショットノイズ低減機能
- HDR PQ設定
- HDRモード：画像位置自動調整
- 動画記録サイズ：FHD
- 動画クロップ撮影
- HDR動画撮影
- 撮影情報表示設定：撮影距離表示設定
- 撮影画面表示設定：省電力優先
- フォーカスリングの回転方向変更
- RFレンズMF操作敏感度変更
- レンズ光学補正
 - ・ 周辺光量補正
 - ・ 歪曲収差補正
 - ・ デジタルレンズオプティマイザ
 - ・ 色収差補正

設定を元に戻すためには、本レンズを装着する前に、[カメラ設定をカードに保存・読込]を使用して、カメラの設定を保存し、レンズ取り外した後に保存した設定を読み込んでください。

レンズの取り付け／取り外し




レンズの取り付け方

レンズ側とカメラ側のレンズ取り付け指標を合わせ、レンズを時計方向に「カチッ」と音がするまで回します。

レンズの取り外し方

カメラのレンズロック解除ボタンを押しながら、レンズを反時計方向に回します。回転が止まるまで回してから取り外します。

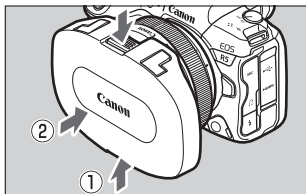
詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

- レンズの取り付け/取り外しを行うときは、カメラの電源スイッチをOFFにしてください。
 - レンズを取り外す前に、レンズキャップを取り付けてください。
 - レンズを取り外したときは、接点やレンズ面を傷つけないように、レンズマウント側を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。ダストキャップを取り付けるときは、レンズ側とダストキャップ側の取り付け指標を合わせて回してください。
 - 接点に傷、汚れ、指紋などが付くと接触不良や腐食の原因になり、動作不良を起こすことがあります。汚れなどが付いたときは、柔らかい布で接点を清掃してください。
 - 防じん・防滴性能の向上のために、このレンズではレンズマウントにゴムリングが付いています。このゴムリングにより、カメラのレンズマウント周辺に細い擦れ跡が付くことがありますが、使用上の問題はありません。
-  ● ゴムリングはキヤノンサービスセンターで交換できます。(有料)

2. レンズキャップの取り付け／取り外し

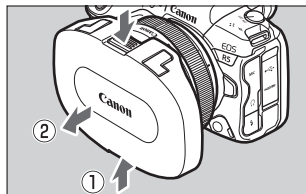
このレンズは先端が前枠部より突き出しています。レンズを保護するため、撮影時以外は専用のレンズキャップを取り付けてください。

レンズキャップの取り付け



キャップの上面部と下面部にあるボタンを押しながら (①)、取り付けます (②)。

レンズキャップの取り外し



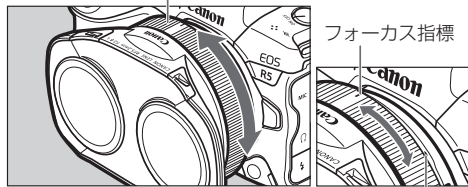
キャップの上面部と下面部にあるボタンを押しながら (①)、取り外します (②)。

- レンズキャップを取り外した後は、レンズ面に触れたり、周りのものと接触させたりしないように注意してください。

3. フォーカスリング

このレンズは、フォーカスリングを回してピントを合わせます。(AF撮影はできません。)

フォーカスリング



フォーカス指標

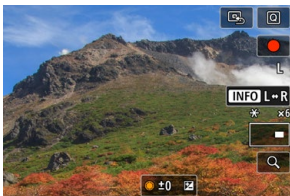
フォーカスリミット指標

- このレンズには被写界深度目盛りはありません。カメラのライブビュー映像を見ながらピント合わせを行ってください。
- このレンズではフォーカスリングの設定方向を反転させることができません。
- このレンズではMF操作敏感度の変更はできません。
- 撮影中にフォーカスリングに触れるとピント位置がずれる恐れがあります。
- 左右のピントにズレがあるときはピント左右差調整ダイヤルを回して調整を行ってください。

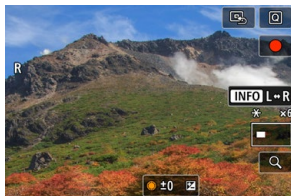
4. ピント左右差の確認／調整方法

ピント左右差の確認方法

レンズをカメラに初めて装着するときや、長時間の輸送後に使用するときには、次の手順でピント左右差を確認してください。



- 1 左レンズの拡大映像を表示させ、フォーカスリングを回してピントを合わせます。



- 2 カメラの〈INFO〉ボタンを押して右レンズの拡大映像に切り換えます。

- 右レンズの拡大映像に切り換えた後、拡大映像のピントが合っていれば調整は不要です。ピントが合っていない時のみ、次のページを参照して調整を行ってください。



● 左レンズの拡大映像の表示方法

- カメラの〈Q〉ボタンを押すと、左レンズの映像の拡大率を変更することができます。
- さらに、カメラの〈INFO〉ボタンを押すと、左レンズの拡大映像⇄右レンズの拡大映像と、表示を切り換えることができます。

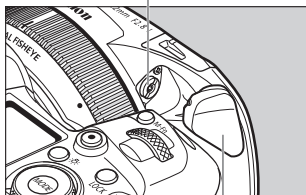
詳しくは、カメラの使用説明書をご覧ください。

ピント左右差の確認／調整方法

ピント左右差の調整方法

右レンズの拡大映像を表示させたまま、次の手順で調整を行います。

ピント左右差調整ダイヤル

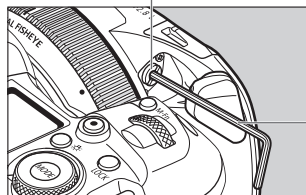


キャップ

1 キャップを外します。

- 調整後はキャップをしっかりと押さえ、取り付けてください。

ピント左右差調整ダイヤル



六角レンチ

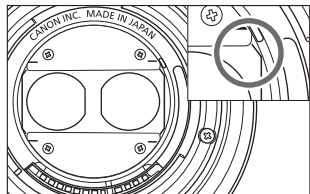
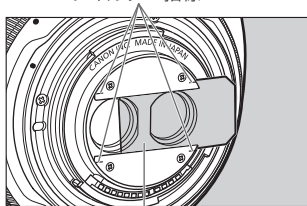
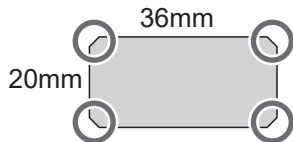
2 付属の六角レンチでピント左右差調整ダイヤルを回して調整します。

- ピント左右差調整ダイヤルを回すと、右レンズのピントのみが変化します。
- 右レンズの拡大映像のピントが合えば調整は完了です。

5. フィルター（別売）

このレンズには、後部にゼラチンフィルターホルダーが設けられています。フィルター指標に入る大きさにフィルターを切り、ホルダーに差し込んでください。

フィルター指標



ゼラチンフィルター

- 1 ゼラチンフィルターを切ります。
 - フィルター寸法推奨サイズは縦20mm×横36mmです。
 - 四隅の角を切って使用してください。
- 2 ゼラチンフィルターをホルダーに右側から差し込みます。
- 3 ゼラチンフィルターの装着状態（ホルダーの枠に入っているか、角が外形からはみ出していないか）を確認します。
 - ホルダーの外形からはみ出していれば、フィルターを切ってください。

- ⚠
- フィルターは1枚のみ使用できます。
 - ゼラチンフィルターの使用により、ゴーストが発生することがあります。ゼラチンフィルターにゴミや傷が付かないように注意してください。

6. 露出について

このレンズを取り付けた時でも、すべての撮影距離で、AE（自動露出）撮影ができます。

- AE（自動露出）の測光範囲は左レンズのイメージサークル内に限定されます。
- このレンズは画角が広いため、近くの被写体にストロボ撮影を行うとAE（自動露出）の露出値に大きな誤差が生じることがあります。その場合は、単体露出計のご使用や、撮影画像を確認しながら撮影してください。

主な仕様

焦点距離・明るさ	5.2mm F2.8
レンズ構成	10群12枚（プリズム2枚）（片側光学系あたり）
開放絞り数値	F2.8
最小絞り数値	F16
画角	水平 190°、垂直 190°、対角 190°
最短撮影距離	0.2m
最大撮影倍率	0.03倍
基線長 (左右レンズの中心間隔)	約60mm
幅×高さ×長さ	約121.1mm×83.6mm×53.5mm
質量	約350g
レンズキャップ	レンズキャップ5.2
ケース	LS1014

- 撮影後のExif情報には焦点距離5mmと表示されますが、これは表示上の制約によるものです。
- レンズの長さはレンズマウント面からレンズ先端までの寸法です。
付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+21.0mmになります。
- 幅×高さ×長さ・質量は本体のみの値です。
- クローズアップレンズ250D/500Dは使用可能なサイズがありません。
- エクステンダーは使用できません。
- 記載のデータはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品の製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の機種への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、お手持ちの消耗品や付属品がご使用いただけなくなることがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノンEOSホームページ

canon.jp/eos

キヤノンお客様相談センター

0570-08-0002

(つながらないときは 050-555-90002)

受付時間〈平日/土〉9:00～17:00

(12月31日から1月3日は、休ませていただきます。)

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon